

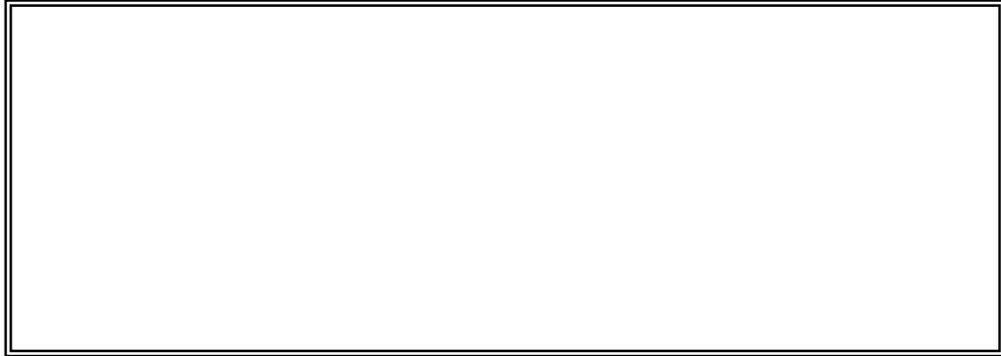
6 本時の学習

- (1) 目標 ①鹿本町の人口分布の特色について資料をもとに調べ、日本の人口分布の特色と共通点があることに気づくことができる。
 ②『鹿本町の宝』を見つけ、地域活性化及び町づくりの視点について見つめることができる。

(2) 展開

学習活動	時間	徹底・能動	教師の支援	教材・教具等
1 前時の復習を行いながら、本時の学習内容を確認する。[一斉]	5	徹底	・鹿本町の人口減少が、他の地域と比べて緩やかなのは、国道325号が通っていたり、大型店舗や多様な店があり便利だからという意見を確認する。	山鹿市(旧市町)の人口推移のグラフ
自分が住んでいる地区の人口は、増えている？ それとも減っている？				
2 自分達が住んでいる地区ごとの人口推移を予想させ、なぜそのように思うのか、自分たちの考えの根拠を発表する。[個別 → 一斉]	13	能動	・鹿本町の人口推移をもとに、自分の住んでいる地区の人口推移の予想を、矢印(磁石)で地図上に示し、全体的な予想を視覚化する。 ・予想の理由を簡単に発表させ、根拠を確かめる。 ・資料1『小学校の児童数の推移(指数)』を示し、予想を揺さぶる。 ・資料2『鹿本町各地区の人口推移』のグラフを示し、自分たちの予想について検証する。 ・予想と違った地区については、地図の矢印(磁石)を訂正させる。	鹿本町地図 矢印(磁石) 資料1 来民小学校と 稲田小学校と 中富小学校の 児童数の推移 資料2 地区毎の人口 推移
3 自分たちが予想した鹿本町の人口分布の特色と実際の状況について資料をもとに確かめる。 人口分布の特色とその理由を発表する。[班]	12	能動	鹿本町の人口分布や変化から見える特色は何だろう？ ・鹿本町の人口分布の特色と理由について、地図を参考に考え発表する。(過疎・過密という観点) ・資料3『鹿本町の人口構成の推移』のグラフから、少子高齢化を読み取る。 ・現状についてどのように生徒が認識しているのかを確認する。 ①人口減少や高齢化をマイナスにとらえているのか。 ②鹿本町の現状をマイナス・プラスどちらにとらえているのか。 鹿本町の人口分布の特色や変化についての確認を行なう。	資料3 鹿本町の人口 構成の推移
あなたが将来も住みたくなるような『鹿本町の宝』を見つけ、認定証を作成しよう。				
4 各校区に別れて、自分たちの校区の宝を見つけ認定証を作成し、発表する。[校区] ・来民1区～3区 … 6名 ・来民4区～7区 … 7名 ・中富 … 7名 ・稲田 … 8名	15	能動	②少子高齢化が進んでいること ・自分たちの校区の良さを再発見し、人口減少という課題の解決につながる視点を大切に鹿本の宝を見つける。 ・生徒が校区を見つめ直す視点を見つけられない時には、アドバイスを行なう。 (自然の豊かさ 人と人の結びつき 地域行事など) ・他の校区にない特色などを加味して考えられるようにアドバイスを行なう。 ・考えた『鹿本町の宝』が、地域活性化や町づくりにつながる可能性があることをおさえる。	認定証 マジック
5 本時のまとめを行なう。[一斉]	5	徹底	・鹿本町の人口分布の特色についておさえるとともに、現状をマイナス面としてとらえるのではなく、鹿本町の良さを再確認できるように配慮する。	

『鹿本の宝』認定証



認定理由

.....

.....

.....

.....

.....

平成18年10月26日

鹿本中学校 第2学年